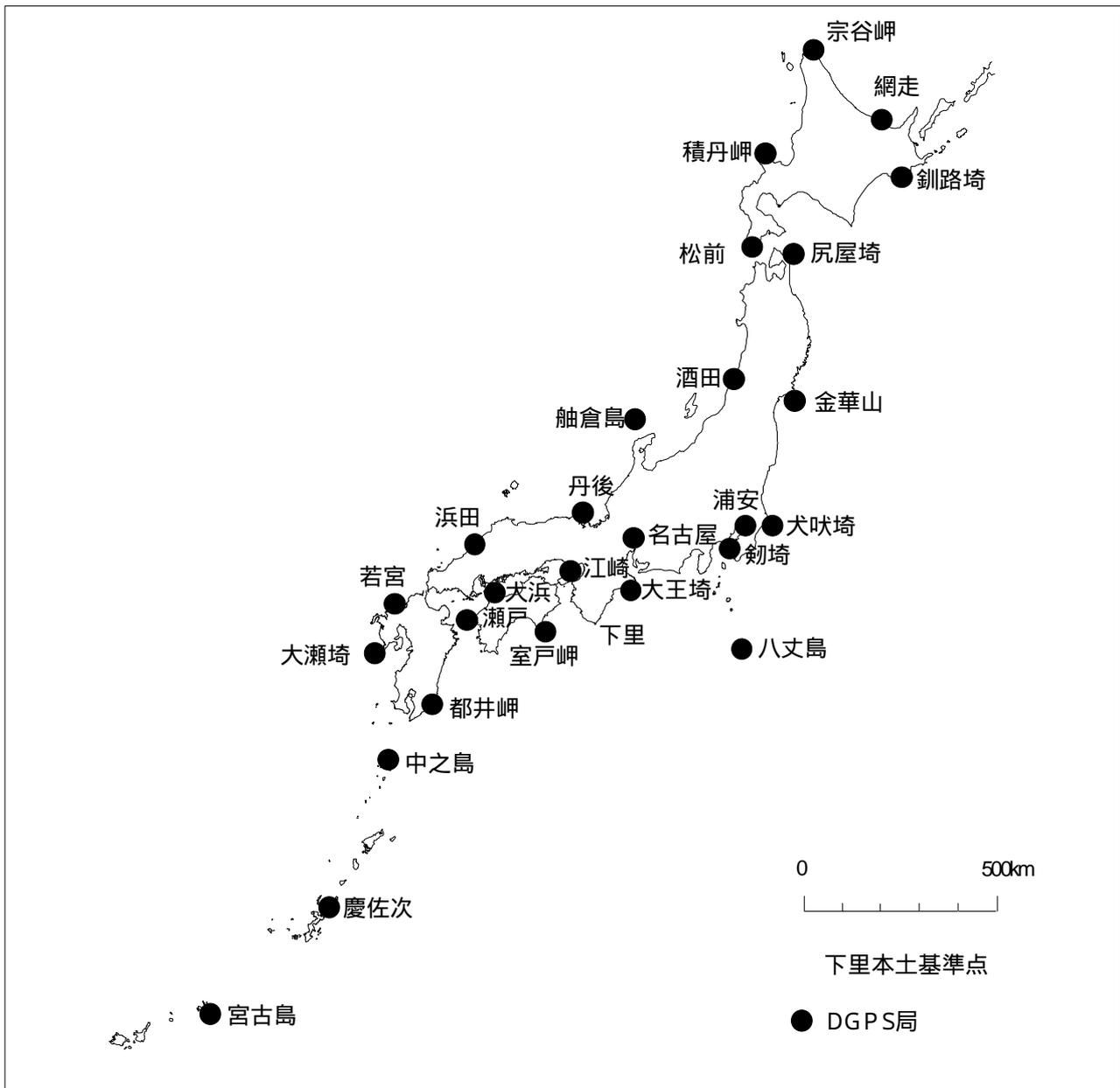


平成11年度 地殻変動監視観測  
(ディファレンシャルGPS局を利用した地殻変動監視観測)

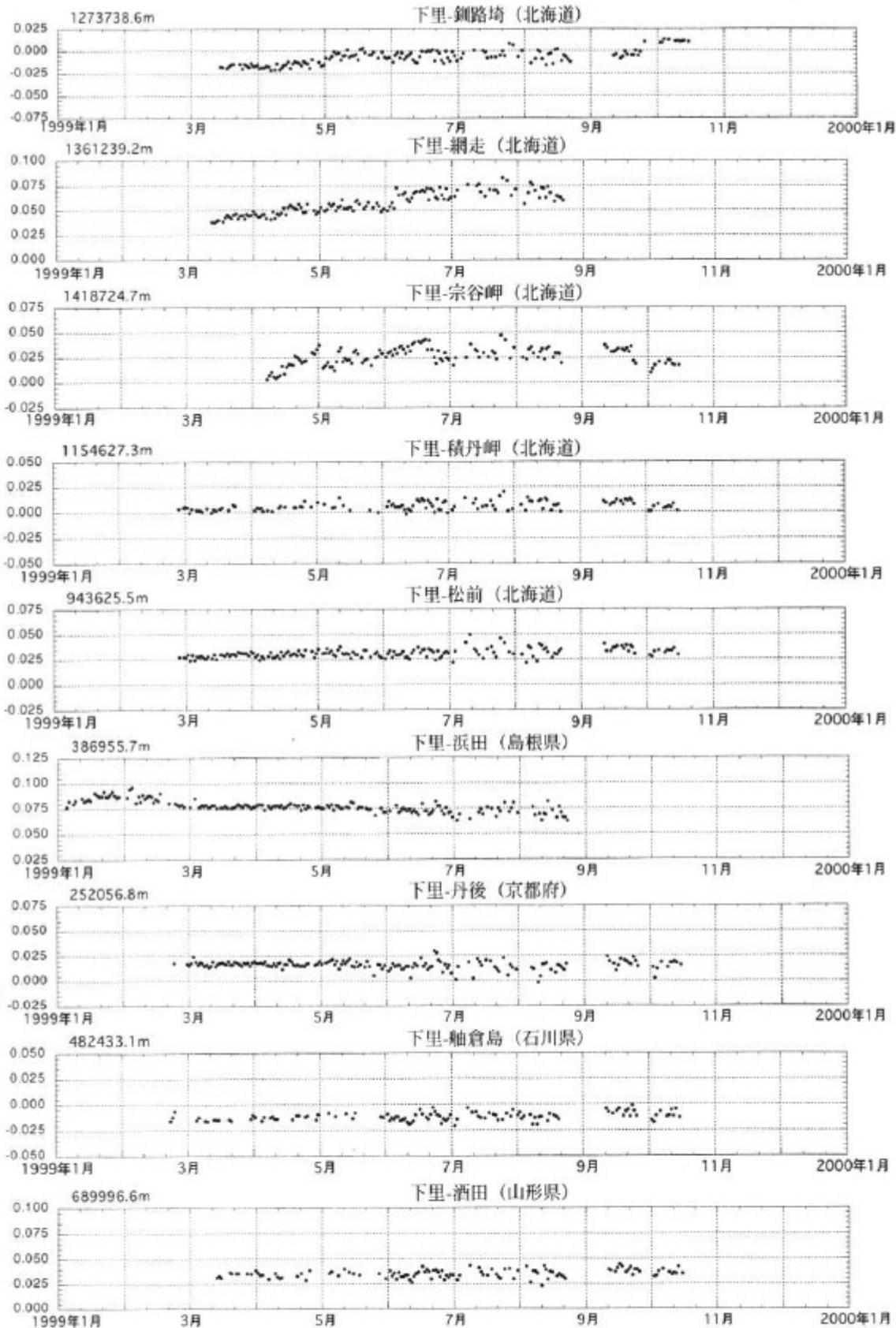
日本列島の広域の地殻変動を監視するため、海上保安庁灯台部ディファレンシャルGPSセンターが運用するディファレンシャルGPS局のGPSデータを用いて平成11年1月から連続観測を、同年10月からISDN回線によりデータ転送を開始した。

解析は、精密基線解析ソフト「Bernese Ver.4.0」を用い、各ディファレンシャルGPS局(下図参照)の位置を決定した。同年10月から「GARD」による自動データ転送・解析を開始した。解析の基準点は和歌山県下里水路観測所(SLR観測局)である。

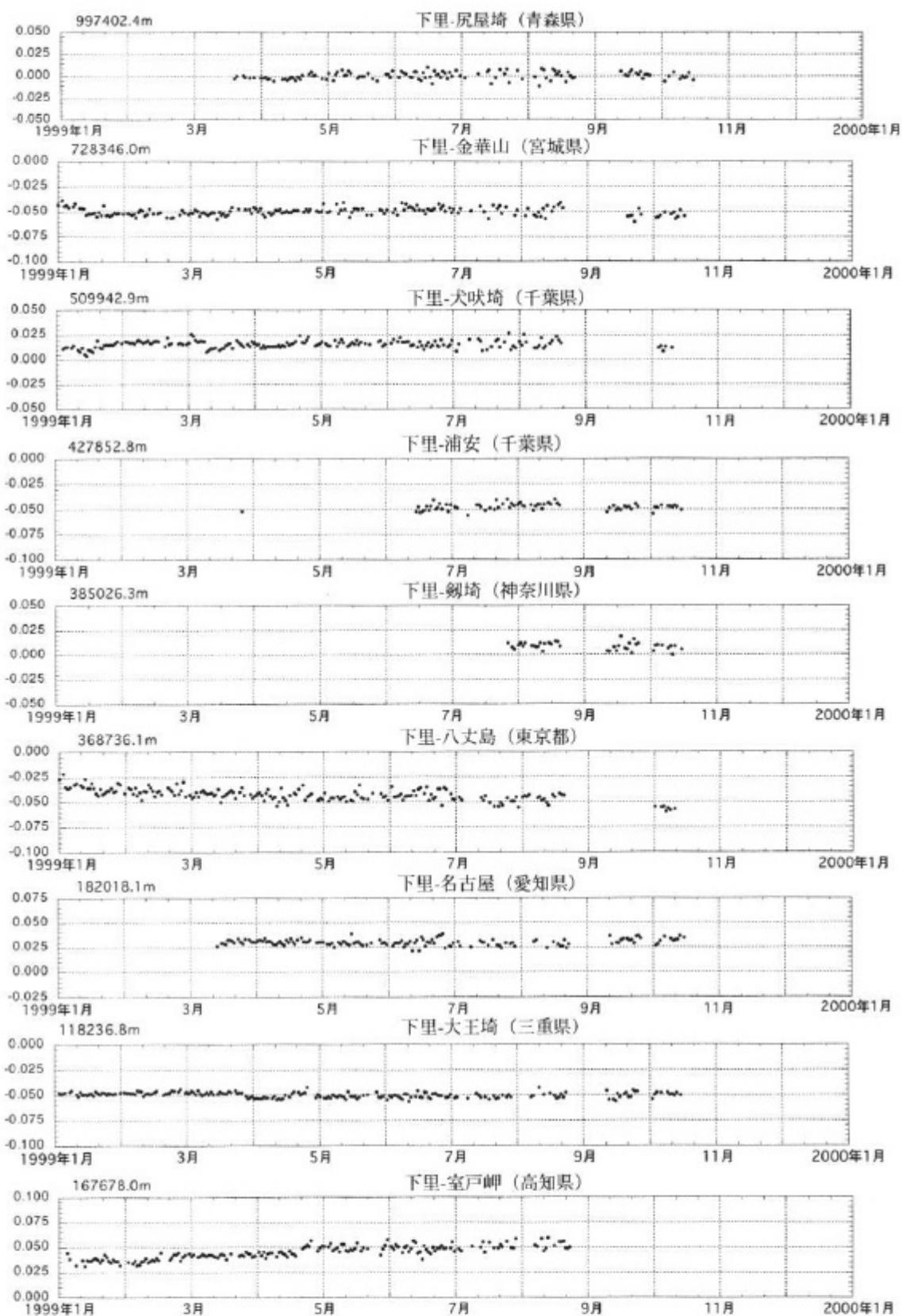
平成11年1月から12月までの下里から各ディファレンシャルGPS局間の基線長変化を第2図に示す。



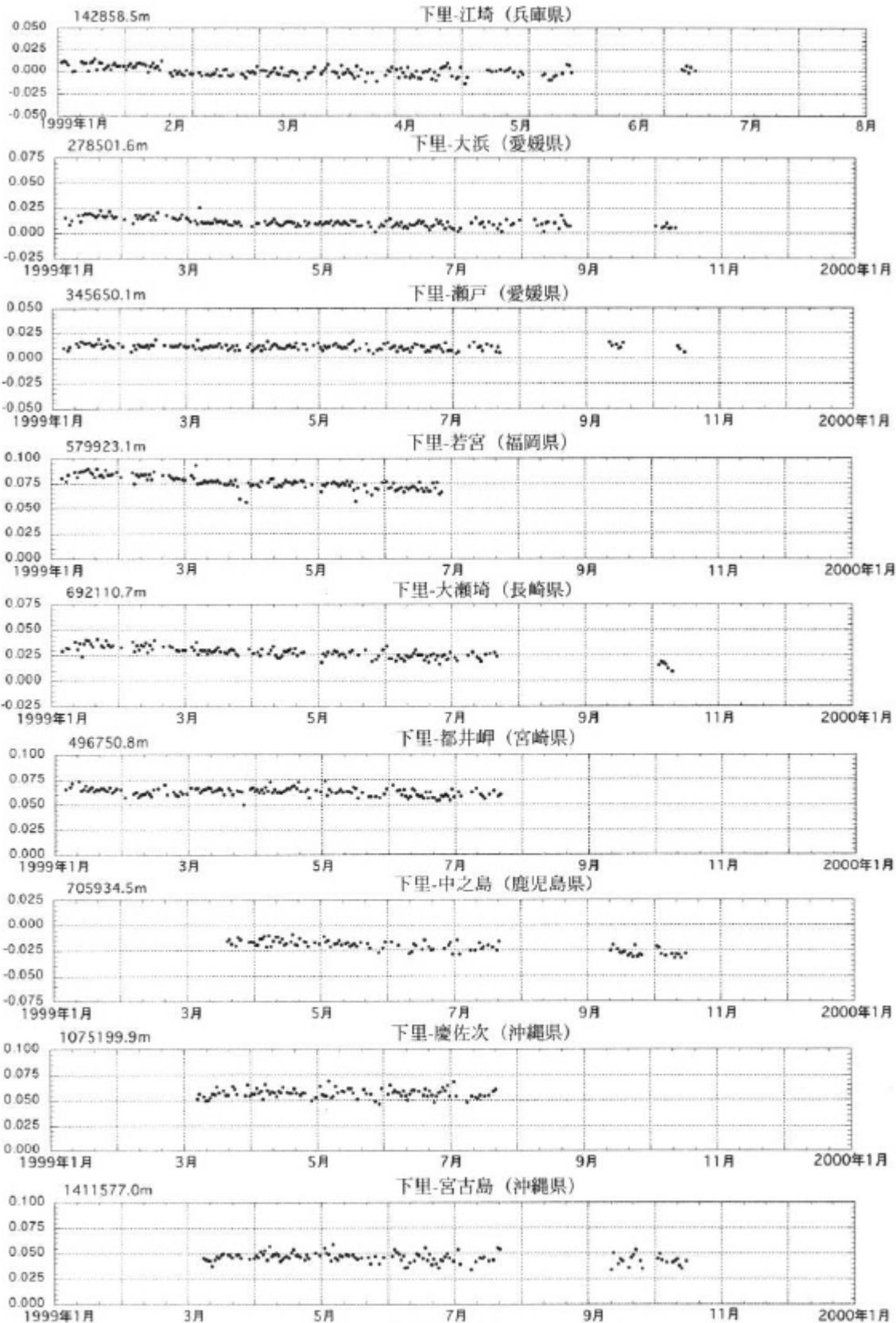
第1図 ディファレンシャルGPS局の配置図



第2図 GPS観測で求められた下里と各観測点間の基線長 (1999年1月から10月)。  
 Fig.2 Baseline lengths estimated from continuous GPS observations from Jan to Oct in 1999.



第2図 つづき.  
Fig.2 continued.



第2図 つづき.  
Fig.2 continued.